

## 新校名は「長野県小諸義塾高等学校(仮称)」

「小諸義塾」は、明治時代に高等小学校を卒業後も向学の念が強い青年たちのために地域住民や地元議会が資金を出し合って創立・運営された学校でした。閉校後に小諸義塾の校地校舎が現在の小諸商業高等学校、小諸高等学校の原点である旧町立小諸商工学校に転用された歴史があります。

地域から愛される学校、地域と共に育っていく学校にどの新校への願いや期待を象徴する校名として選定されました。

令和4年9月に公募し、応募いただいた校名候補案119件を基に、小諸新校再編実施計画懇話会において選定し、商標登録等の調査を行ったうえで最終選考を行い校名候補を決定しました。

この校名は本年5月に県教育委員会で決定されましたが、高等学校設置条例の改正をもって正式決定となります。同条例の改正は、開校前年の令和7年度に県議会で提案される予定です。

## 活用する校地・校舎は現小諸商業高等学校

(令和7年度末に完成予定)

NSD(長野スクールデザイン)プロジェクトにより、通学の利便性、小諸市の「多極ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくり構想と連動した基本計画となっています。

FLA(フレキシブル ラーニング エリア)を設けることにより、普通科、商業科、音楽科の生徒が自然に交流することができ3科が融合しやすい環境となっています。

音楽棟や音楽ホール、大体育館を新設する他、現在の校舎を改修する計画です。

また、地域連携協働室の創設により、地域と連携した学びがしやすいようになっています。



## 新校制服は標準服を導入予定



現在、小諸高校は私服、小諸商業高校は制服を着用しています。これまでに生徒・保護者や職員へのアンケートを行い、様々な意見を集約しました。

それらを踏まえて、新校では「制服」ではなく、「標準服」を導入し、生徒自身が選んで着用できるスタイルにする方向で検討を進めています。

具体的にどのような標準服になるのかは、これから決まっていますが、令和7年度入学生から、この標準服を導入したいと考えています。